

や広報たしる

No.376

昭和59年12月号

田代町企画管財課編集

1,550部発行

人口のうごき

基本台帳人口

昭和59年10月31日現在 前月との増減

男	2,052人	9人
女	2,218人	△4人
計	4,270人	5人
世帯数	1,449戸	3戸



おおすみ 大隅の国 南方肝属山地荒西
ろくろかん 六郎館より出て東より西へ流
れる花瀬川。
激しい流れ、ときとして岩
をも砕き、周囲の山肌を削る
その流れが穏やかにして優し
き流れとなる花瀬。一斉平担
にして、広がる干畳敷の石畳
水の流れ、岩の割れ目を走り
相激突し細かに飛び交い文を
なし、白い帯となる。
春夏周囲の山、桜・藤で色
どられ、秋冬紅葉の一大模様
この美しい花瀬の流れ、周囲
の景観を称えいざや叩かんか
ないざや叩かんかな
十一月三日文化祭発表

林業改善資金…りっぱな山づくりにお役立てください。

無利子の資金

林業改善資金の内容

団地間伐促進資金

間伐実施に必要な費用

間伐を実施する森林1haにつき35万円

技術導入資金

林業の生産行程を改善するための能率的な技術を導入する場合において必要な機械又は施設で、農林水産大臣が定めるものの購入又は設置に必要な費用

林内作業用トラクタ1台につき400万円

モノレール1セットにつき210万円

しいたけ加温機 〃 36万円

しいたけ乾燥機 〃 72万円

安全生産施設資金

防振チェンソー、その他林業労働災害の防止に有効な林業生産用の機械等の購入又は施設の設置に必要な費用

防振チェンソー1台につき18万円

(リモコンチェンソーを含む)

防振携帯用刈払機1台につき6万円

自動技打機1台につき100万円

林業後継者等養成資金

林業後継者たる青年又はその組織する団体が林業複合経営を開始するのに必要な費用

林業後継者たる青年1人につき150万円

林業後継者たる青年が組織する団体にあってはその構成員である林業後継者たる青年1人につき150万円

詳しいことは森林組合にご相談ください。

職業訓練指導員免許取得講習会の開催について

職業訓練指導員免許を取得したい方々のための講習会が鹿児島市で開かれます。受講希望の方はお申込み下さい。

一、場 所

鹿児島高等職業訓練校

鹿児島市草牟田二丁目36-39

☎ 0992-2610517

二、講習期間

昭和60年1月8日(火) ~ 1月14日(月) 7日間

三、受講資格

(イ) 実務経験15年以上の人

(ロ) 一級技能士

四、受 付

昭和59年12月10日(月) ~ 12月20日(木)

五、定 員

50名 但し定員に達したときは締切ります。

六、受 講 料

8000円 テキスト代とも

七、申 込

申込書に受講料を添えて、県職業能力開発協会に申し込むこと

八、受 講 通 知

書類審査のうえ通知する

主 催

鹿児島県職業能力開発協会

鹿児島市住吉町15-11 県住吉ビル3F

○ 申 込 書

受講希望の方は、封筒に宛名明記のうえ60円切手をはり県職業能力開発協会に申込めば申込書類を送付する。

昭和59年度 田代町振興大会



町民の皆様への謝意をこめて町長挨拶

去る十一月三日、昭和五十九年度田代町振興大会が開発センターに於いて、町民の皆さん総参加で盛大に実施されました。

最初、スライドで「田代町の村づくり」と題して、田代町のすがたを報告しました。次に、町青年団、商工青年部による花瀬太鼓が初めて、町民の皆さんに披露されました。そして、開会のことばの後町長が町民の皆さんに対し行政の報告をされ、各搬に巨る功績に対しての表彰がなされました。今年は、功労賞七人、奨励賞七振興会納税組合が映ある表彰を受けられました。尚、表彰された方々は次のとおりです。



奨励賞受賞団体のみなさん



功労賞受賞のみなさん

功労賞
産業経済
山下 善五郎
原 沢 幸
伊藤 文 吉
山 藤 深
地方自治
牧 原 節
白 桃 義美
大 浦 義美



記念品として柿苗を配付



大好評だった農産物展示即売

更に文化協会の作品、一般児童生徒作品の展示、又外に於いては、各種農林業機械の展示即売、出荷施設では安く新鮮な農産物の展示即売、

奨励賞

納税の部(団体)

下・馬場・東ノ原

東中郡・柴立

上柴立・鳥淵

照明器具の手入れは手まめに

部屋の電灯や机のスタンドがよれていたり、明るさが20〜30%くらい減ってしまします。

ちょっと、そうじするだけでみちがえる程、明るくなります。

2〜3カ月に一度は、そうじしましょう。

ひどいよごれは、洗剤をとかしたぬるま湯でふくと、きれいに落ちます。この場合、事故を防ぐため器具は、必ず電源からはずしてください。なお、よく乾いてから、電源につないでください。



退職者医療制度について

国民健康保険のなかに、昭和五十九年十月一日より退職者医療制度が創設されました。この制度は、現在田代町の国民健康保険に加入している人で、被用者年金各法（厚生年金保険法、国家公務員等共済組合法、地方公務員等共済組合法、私立学校共済組合法、農林漁業団体職員共済組合法等）に基づく老齢又は退職を支給事由とする年金を受けている人であって、年金保険の被保険者等であった期間が二十年以上、又は四十才以後の期間が十年以上ある人が対象となります。

ただし、若年を理由としてその金額が支給停止されている場合は、その支給停止をされている間は対象となりません。

老人保健法の適用を受ける人も除外されます。

又、退職被保険者と同一の世帯に属し、主としてその者により生計を維持している人は、被扶養者としてこの適用を受けられます。

この制度の対象者については、病院や診療所等で支払う自己負担額（これまでは3割）

が次のように軽減されます。退職被保険者

（被用者年金受給者）

入院 二割
外来 二割
被扶養者 二割

入院 三割
外来 三割

届出期間は年金証書の届いた日の翌日（年金給付の支給が若年を理由としてその金額が支給停止されている人については、その停止すべき事由が消滅した日の翌日）から起算して十四日以内となっております。詳しくは、田代町役場民生課保険衛生係にお問い合わせ下さい。

サラリーマンの給与所得控除

サラリーマンの給料やボーナスには所得税がかかります。この所得税には、給料やボーナスが支払われる際、給与の支払者が源泉徴収して納めることになっています。

ところで、サラリーマンには、必要経費が認められていないなどと、誤解されている方もおられますが、サラリーマンにも必要経費などの要素があります。

給与所得控除額 表1

収入金額	給与所得控除額
165万円までの場合	収入金額×40% (57万円に満たない場合は、57万円)
165万円を超え330万円までの場合	収入金額×30%+16万5000円
330万円を超え600万円までの場合	収入金額×20%+49万5000円
600万円を超え1,000万円までの場合	収入金額×10%+109万5000円
1,000万円を超える場合	収入金額×5%+159万5000円

そこで、サラリーマンの給与所得控除について、そのあらましを説明しましょう。所得税は原則として、その年中の収入金額から必要経費の額を差し引いた残りの所得金額に対して課税されます。サラリーマンの場合も、その年中の給与の収入金額から「給与所得控除額」を差し引いた残りの給与所得金額に対して所得税が課税されます。給与所得控除は、サラリー

マンの勤務に伴う必要経費などの概算控除として認められているもので、事業所得の必要経費に相当するものです。

「忘年」と言う言葉にはいろいろな意味があるようです。自分の老いを忘れて没頭するほどおもしろく思うこと、年齢の差を気にとめないこと、長幼を論じないこと、その年の苦勞を忘れること——などです。

もちろん忘年会はその年の苦勞を忘れるための催しですが、せっかくの会ですから、年齢を忘れ、長幼に関係なくたのしみたいものです。

歳時記

最近では、泊まりがけの忘年会が流行しています。といっても、別にぜいたくになったのではなく、マイカーの普及によるものです。忘年会の後、酔っぱらい運転をして帰ることはできないので、それならいっせ温泉宿などに泊まって忘年会をやり、あくる朝早くみんなそろって出勤しようというわけです。

忘年会

十二月は正月用の食品が大量に出回るシーズン。同時に食中毒など食品の事故も増えることから、国では特に十二月を「食品の年末一斉取締り月間」として、食品衛生監視員が食品関係業者の監視を行います。わたしたちも、おせち料理などの食品の取扱い、保存には十分に注意しましょう。



給与所得控除額は、給与の年収額に応じて次のようになっています。 四頁三段 表一

上柴立婦人会へ知事表彰

去る十一月二十四日、上柴立婦人会が、国民年金優良納付組織に対して、鹿児島県知事より表彰されました。



表彰を受ける上柴立婦人副会長

健康だより

栄養改善推進員さんを紹介します。

田代町のみなさんが、太陽のように活力に満ち、いつまでも幸せで長生きのできる様特に健康と体力の増進を図るための基本である栄養に対する関心を高め、正しい栄養知識を高める推進役として本町にも栄養改善推進員さんに、活躍をしていただけて居ります。

昨年度迄は、
橋ノ口 右田 睦子さん
西中郡 限元 矩子さん
鶴園 小川 ノリさん
西中郡 上久保 セツ子さん

西中郡 井手 エミさん
鶴園 久保 富子さん
東中郡 福山 洋子さん
東中郡 今村 幸子さん
鶴園 水原 洋子さん
上柴立 松崎 シズ子さん
柴立 舞原 子さん
鶴園 木尾 祥子さん
長谷 牧原 タミ子さん
長谷 木佐貫 リツ子さん
の十一人の皆さんにお願いすることになりました。

もうすでに栄養教室等で活動をして居りますので御存知の方もしらっしゃると思いますが、今后もよろしくお願ひ致します。

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません



篤志寄付金
田代町社会福祉協議会
さきに御逝去されました御遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の御寄附を賜りました。厚く御礼申し上げますと共に御冥福をお祈り致します。

小園 哲郎様
鍋倉 源次様
右田 ミチ子様
川畑 輝男様

地域ぐるみで青少年健全育成と生活の簡素化を推進しよう！

去る十一月十三日（火）、町婦人会主催による母親セミナーが町開発センターで盛大に開催され、母親として子どもの健全育成の在り方や生活の簡素化についての問題点をほり起こし、明るい地域づくりを推進するために活発な意見が交わされました。

当日は、町内地域婦人会員五〇〇名が出席。数々のプログラムの中で好評を博したのが会員二〇名による青少年の非行防止と生活の簡素化についての寸劇。キヤストは、すべて婦人会員で非行をくりかえす少年を家庭、学校、地域社会が一丸となって更正に導く過程と冠婚葬祭の簡素化の実践状況を熱演、会場の大きな拍手をあげました。

このセミナーに先だち地域婦人会では、各集落で青少年の健全育成の方策と冠婚

— 婦人会母親セミナー —



あいさつする婦人会長

葬祭の簡素化についての意見を集約し、10の婦人会から問題点と今後の推進策についてすばらしい発表がなされました。

今後は、青少年健全育成の町にふさわしい町づくりを小組合や子ども会育成会、高校生父母連絡会などと協力して健全育成の方策について実践しなければならぬと思えます。

生活の簡素化については、今年四月に各家庭に配布された冠婚葬祭等簡素化運動実践事項の金額をめやすに、町民ひとりひとりが自覚し勇気をもって実践することが大切ではないかと思えます。

また当日は、ひまわりグループ（代表鶴岡イトエ 20名）が友情出演し、田の神さあを題材にした寸劇も披露され、大会が一層盛り上がりしました。



婦人会歌をうたう母親

- セミナーで話し合われたことをまとめてみました。地域や家庭で実践しましょう。
- 服装が派手になっていないか、言葉づかいや態度が悪くなったり、親が与えない品物を持っていないか常に親が心がける。
- 子どもに孤立した勉強部屋を与えない。
- 親子の話し合いを心がける。
- あいさつのできる子どもに育てるために、親も率先してあいさつをする。
- 親や周囲の人は、子どもに思いやりをもって接する。
- 道徳の道に反する行為をした場合は徹底的に話し合う。
- 家庭や地域での生活時間が大切でけじめのある生活をおくる。
- 両親一緒に家をあけない。
- 気付いたことはその場で勇気をもって注意する。
- テレビ視聴は夜八時ごろまでとする。
- 地域の諸行事にすすんで参加させ、ふるさと意識を育てる。
- 地域の清掃など奉仕活動にすすんで参加させる。
- 一日一汗運動に参加させるために各家庭では、子どもの体力にあつた仕事をさせる。
- 子どもをあまやかさない。
- 子どもの疑問、質問に親はにげないで答え、ともに話し合いオープンな家庭こそ未然に事故などを防げる。
- テレビの内容に充分気をつけてみせる。
- マンガの本にも気をつけてみせる。
- 道路標識に従い、親も子どもも交通事故に気をつける。
- 地域に遊び場がないので小組合と協力して遊び場建設に取り組みたい。
- 家庭における夫婦の和が教育の基本である。
- 郷土行事を通じて青少年の健全育成につとめる。
- 先祖を大切にして朝晩の礼拝をさせる。
- 整理整頓は、履物から、き

- きちんと揃える習慣をつける
- 冠婚葬祭の簡素化
- 結婚式は会費制が良いことは分つていても世間体を気にして実施できない。
- 町内の青年で会費制の約束ごとを作つてほしい。
- 葬式は簡素化されつつある。
- 祭だんや花輪を町社会福祉協議会などで購入し、安く貸し出してほしい。
- 香典返しが守られていない集落もあるようだ。
- 結婚祝金は守られていない。
- 病氣見舞は守られている。
- 葬式は公民館を利用してたきだしをしている。
- 結婚式は会費制にして、初盆は名前をまとめて書いて代表者がもつていってほしい。
- 結婚式は、お金をかけず将来の家庭生活にそなえた方がよい。
- 結婚式は親戚だけでやってほしい。
- 冠婚葬祭の実践事項は、家にはつてあるだけで守られていない。
- 役職にある人が冠婚葬祭についての自覚を高めてほしい。

教育だより

家庭教育を見直そう

田代分校

田代分校では先般PTA主催、町高校在学生父母連絡会後援で第二回地区座談会を町内外七地区（夜七・九時半）で開催しました。

出会対象は高校生を持つ父親とし、児童民生委員、保護司、教委、警察等の関係者出会のもと、高校生健全育成について熱のこもった話し合いをしました。

		期日	会員数	父	母	計	出	会	者	数	出	会	率	助	言	者
麓	中央	10.22	44人	19	14	33	75.0	9人								
上	部	10.23	34	11	16	27	79.4	7								
川	原	10.24	56	35	8	43	76.8	7								
花	瀬	10.30	28	16	4	20	71.4	6								
大	原	10.31	43	11	15	26	60.5	7								
田代町計			205	92	57	149	72.7	36								
池	田	11. 1	11	9	2	11	100.0	3								
滑	川	11. 2	73	24	9	33	45.2	16								
合	計		289	125	68	193	66.8	55								

（池田のみ田代高P会員である）

家庭教育の見直し

- 非行のもととなる夜間外出外泊はしないさせないとPTA総会で決議までしたのに守らない家庭がある。その原因については、校則についての親の認識の甘さ、わが子を信じきつていたため、の注意不足、わが子がわけて指導しきれない親の弱腰が指摘された。対策として単車のカギを預かる、メーターチェック、外出を黙認、許可しない等がある。
- 勉強部屋については、「離れ」はいけない。勉強部屋に親を入れない子は問題がある。親子の相互信頼が必要。特別の勉強部屋は必要か。勉強部屋がたまり場化している。問題生徒の父親が他人の子に口出しするなと言った等の話しが多かった。
- 子の持ち物、生徒同士の物品の売買、貸借については親の無関心、子との信頼関係をおそれ物品の確認を怠る親、子同志の物品売買、貸借の禁止、小遣金の与え方、アルバイト益金の使途、物を大切にすること、家庭教育の必要性が話し合われた。
- 校外生活指導の実践
- 他人の子（子の友人等）の

外出、外泊を黙認、許可しない。

○ 問題を起した生徒は、家庭だけでなく、学校も地域も暖かく見守り寄つてたかつて立ち直らせよう。

○ 各地域ごとに登下校時、服装・交通指導（愛の声かけ）をしよう等話し合った。

親としてのあり方

わが子をこわがっている親、子になめられている親、子を教育する親の義務を放棄している親が多い。子を特別扱いせず悪は悪とはつきり教える親になろう。家の子に限ってを脱皮し他人の子も地域ぐるみで育てよう。会合への欠席遅刻をせず、親としての最大の仕事は「子育て」であることをみんなで再確認しよう。

とり入れ祭り

大原小学校

十一月十一日（日）くもり空の中で、とり入れ祭りが行なわれた。

両親参観ということもあり朝早くからお父さん、お母さん方が、餅米をせいろで蒸し、餅つきの準備をして下さった。子ども達は、休み時間になると、せいろの周囲に集まりお母さん方の準備する姿を期



よいこらしよ



もち米をむす父兄

餅をまるめるのに一生懸命で、紛だらけになったのにも気づかない真剣な姿。

あの子ども、この子ども、幸福そうに微笑んでいた。

その笑顔がながめながら、親と子のふれあう姿が消えない。



ぼくは一人で

待に満ちた眼差しでながめる。

三校時に一、二、三、四年生が、四校時に五、六年生が創意の時間を利用して、餅つき・餅まるめを行なった。

お父さんや先生につきそわれて杵を握る小さな手。

いではいと思った。

とり入れ祭りは、今年で五回目。少々マンネリ化したとの声も聞かれる。

しかし、年に一度のこの祭りを子ども達は本当に楽しみにしている。この喜びが、子ども達に、稲を育てるはげみになっていくのだと思う。

今年も、もみで、四十キロをもちについた。

つきあがれたもちには、親子給食となり、他はお世話になった方々に配られ共に味わっていた。また、今年、先輩達のいる大原中へも配られた。小学校での農園活動の思い出、懐しんでほしいと思うからだ。

田植えから取り入れ祭りまで、惜しまず御協力くださったお父さん、お母さん方に感謝の意を表わすとともに、これからも、より一層充実した農園活動をめざして、校区一体となって頑張っていきたい。

あすの田代を ひらく町民文化祭



グリーンカントリーバンドの演奏

去る十一月二日から三日の両日、第八回町民文化祭がより高く、より深く、より広くをテーマに盛大に開催されました。

この文化祭は町文化協会（南園忠博会長、十七団体）が中心となり町民に芸術文化活動と鑑賞の機会を提供し、町民に芸術文化への関心を高めていただくために、たくさんの方々が参加していただきました。

作品展示の部は、絵画、書道、蘭、万年青、生花、写真、昔の生活用具、手芸品、古銭、詩、短歌をはじめ小学生、中学生、高校生の優秀作品も学校の協力でたくさん出品していただき文化祭を盛りあげていただきました。



ゾウリづくりを習う中学生

去る十一月十日（土）、高齢者と子どもたちがふれ合い学習を通じてふるさと意識を育てるための第二回青少年教室が町中央運動場で開かれました。

当日は 昔の道具、遊具づ

楽しかった 青少年教室

舞台発表の部は、田代小のリードバンド、グリーンカントリーバンドをはじめ詩吟、舞踊、コーラス、三味線、演劇など幅広い芸能が発表され盛んな拍手を浴びました。また今回は町青年団員や商工会青年部員による花瀬太鼓も披露され文化祭に花を添えていただきました。今後ともひとりひとりが芸術文化に関心を高めていただき町の発展につくしていただきたいと思います。

成人式は平服で 参加しましょう

町では、昭和三十九年四月二日から昭和四十年四月一日の間に生まれた新成人の前途を祝し、これからの人生を励ますために成人式を実施します。今回から冠婚葬祭の簡素化運動の推進のため、晴着袴等での参加ができなくなりましたのでご理解下さり平服で参加して下さい。

期日 昭和六〇年一月三日（木）
時間 午前十時より十二時
（受付九時三〇分より）
会場 町開発センター

原沢婦人会優勝

ミニバレーボール大会



優勝の原沢婦人会

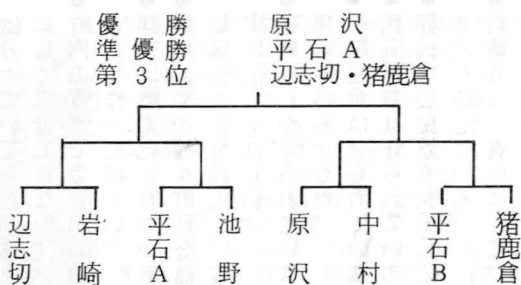
去る十一月十八日（日）、町婦人会主催の婦人ミニバレーボール大会が町開発センターを中心に盛大に開催されました。

本大会は、地域婦人会活動スポーツ行事を取り入れ会員の親睦を深めるとともに健康で明るい家庭や地域づくりに



大ハッスルのお母さん

寄与することを目的に今年で十回目を数える伝統の大会となつていきます。各婦人会では練習をかさね21チームが参加しおとうさんや子どもたちの声援にこたえておかあさんたちは大ハッスル!! おとうさんや子どもたちの声援をうけた原沢婦人会が前年度優勝の平石婦人会Aを大熱戦のすえ破り初優勝を飾りました。



平石君（田代中）第二位

去る十一月四日、鹿児島市で開かれた県中学校陸上大会で平石勝洋君が入賞しました。